

地上デジタル放送対応

電源分離型ブースター

屋外用

UHF (地上デジタル) 増幅、VHF通過

MODEL N36U

製造番号

このたびは、日本アンテナ製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上のご注意」をごらんください。

JEITA
DH

DHマーク (デジタルハイビジョン受信マーク) は (社) 電子情報技術産業協会が審査・登録された一定以上の性能を有する衛星アンテナ、UHFアンテナ、受信システム機器に付与されるシンボルマークです。

⚠️注意

●入力端子・出力端子のケーブル配線および接続は確実にしておこなってください。(入力端子・出力端子のケーブル配線や接続方法が悪いと画像不良の原因となります。)

📌ポイント

●F型接栓の接続は確実にしておこなってください。F型接栓がゆるんでいると、風によるケーブルの振動などにより、F型接栓がはずれることがあります。ケーブルは別売のインシュレーターでしっかり固定してください。

1m以上離す

UHFアンテナ

インシュレーター (別売品)

ブースター (増幅部)

●同梱品	防水キャップ……………2個 5C F型接栓 (リング付)……………4個	取付ねじ (大：3本、小：2本)……………5本 取扱説明書 (保証書付)……………1部
------	--	--

特 長

●ブースター (増幅部)

1. 高出力で低雑音設計

本器は地上デジタル放送に対応した高出力で低雑音設計の電源分離型ブースターです。

2. UHF帯域は超低雑音設計

本器はUHF帯域の増幅に超低雑音デバイスを採用していますので、ブースターでの雑音の影響を極力抑えた増幅が可能です。電波の弱い弱電界地域でのTV放送の受信に最適です。

3. UHF帯域増幅チャンネル切替機能付

地上アナログ放送が終了した後に53〜62chで予定されているサービスの影響を軽減できる13〜52ch／13〜62ch切替スイッチが付いています。

4. UHF帯域の利得調整可能

UHF帯域利得を調整できます。

5. 入力レベル調整可能

UHF帯域の入力レベルを2段階 (0dB、−10dB) で調整できます。

6. ブースター動作確認ランプ付

ブースターが動作している場合は、電源ランプが緑色に点灯します。

7. 地デジブースターUPA16へ電源供給可能

U・V入力端子に送電できるので別売の地デジブースターUPA16を動作させることができます。

8. シールド構造

増幅部の内部はシールド構造となっておりますので、電波の漏洩や飛込み防止に効果があります。

VHFを入力する場合

VHF

UHF

U/V混合器

U・V入力

V通過

U増幅

U・V出力

VHFを入力しない場合

UHF

U入力

U増幅

U出力

●電源部

1. スイッチングレギュレーター方式を採用

電源部はブースターへの電源を供給するだけでなく、別売のV・U／BS・CS混合器をご使用になれば同時にBS・110°CSアンテナ (コンバーター) にも電源を供給できます。また、電源部とブースターの間でショートなどの異常があった場合に電源部を保護する過電流保護回路が内蔵されています。

2. シールド構造

信号伝送部はシールド構造となっておりますので、電波の漏洩や飛込み防止に効果があります。

3. 省スペース設計

小型設計により縦置き、横置きが可能ですので、少ないスペースで設置できます。

標準性能表

項 目	型 名	N36U	
		VHF	UHF
周 波 数 帯 域		FM・1〜12ch	13〜62ch (13〜52ch)
受信チャンネル・周波数		FM・1〜12ch	13〜62ch (13〜52ch)
利 得 (dB)		0〜−1.5	30〜36
利 得 調 整 範 囲 (dB)		—	0〜−10
切換式固定ATT減衰量 (dB)		—	0／−10
適 正 入 力 レ ベ ル (dBμV)		60〜100	40〜92 ※1 40〜87 ※2
定 格 出 力 レ ベ ル (dBμV)		—	108 ※1 103 ※2
雑 音 指 数 (dB)		—	1.0〜2.0
入力・出力インピーダンス (Ω)		75 (F型)	
電 圧 定 在 波 比		3以下	
相 互 変 調 [IM3] (dB)		—	−64以下 (7波)
混 変 調 (dB)		—	−46以下 (2波)
受 電 電 圧 ／ 電 流 (V／A)		DC15／0.05	
定 格 消 費 電 力 (W)		10	
運 用 消 費 電 力 (W)		1.8	
通 電 容 量 (V／A)		DC15／0.06	
使 用 温 度 範 囲 (℃)		−10〜+40 ※3	
外 形 寸 法 (mm)		高さ106 幅111 奥行50	
質 量 (g)		350	

- 性能表の値はヘッド仕様、UHFch13〜62増幅の時です。
- UHF増幅チャンネルはch13〜62、またはch13〜52への切換が可能です。
- 適正入力レベル範囲はチャンネル数および各チャンネルのレベル差などにより多少異なります。

項 目	型 名	NPS5
伝 送 周 波 数 (ch)		10〜2602
挿 入 損 失 (dB)		2.5以下
入力・出力インピーダンス (Ω)		75 (F型)
電 源 ／ 消 費 電 力 (V／W)		AC100 (50／60Hz) ／10
出力電圧／電流 (V／A)		DC15／最大0.5
使用温度範囲 (℃)		−10〜+40 ※3
外形寸法 (mm)		高さ31 幅67 奥行105
質量 (g)		250

※1 アナログ2波の場合 ※2 アナログ7波＋デジタル9波の場合 (デジタルー10dB運用) ※3 本体周囲温度

ブースター (増幅部) の接続方法

●ケースの開けかた

●UHF入力の場合

●U・V 1本入力の場合

“PULL OPEN”部をつまみ、引き上げてください。カバーを上側を開くとストッパーでカバーが固定されます。ケーブル接続が完了したら、必ず防水キャップを奥まで押し込んでください。すべての作業が完了したら、カバーをしっかり閉めてください。

防水キャップ

電源部へ

UHFアンテナより

防水キャップ

電源部へ

UHF・VHFアンテナより

ブースター (増幅部) の取付かた

●マスト取付の場合

●壁面取付の場合

クイック金具を持上げマストに挿入し、再びクイック金具をセットして蝶ナットでしっかり締付けます。

増幅部

蝶ナット

クイック金具

アンテナマスト (φ22〜50mm)

Uボルト

取付ねじ (大) (付属品)

9〜12mm

壁面 (柱)

取付ねじ (大) (付属品)

取付寸法 95mm

ポイント

Uボルトおよびクイック金具はあらかじめ取りはずしてください。

電源部の接続方法

電源部の取付かた

●壁面取付の場合

(パッケージに付いている台紙を利用すれば簡単です。)

壁面に台紙をあて、壁面 (台紙) の表面から6〜9mm (台紙表面からは3〜6mm) 出るようにして付属の取付ねじ (小) 2本をねじ込んでください。ねじ込みが終了したら台紙をはずし、電源部を取付けてください。

取付ねじ (小) (付属品)

6〜9mm

6〜9mm (台紙表面からは3〜6mm)

壁面 (柱)

取付寸法 48mm

台紙

ポイント

●ブースターへの接続やテレビへの接続、分配器などの接続は確実にしておこなってください。故障の原因になります。

●電源部とブースター (増幅部) または、アンテナとブースター (増幅部) の間で万一ショートしている場合、電源部保護回路が働き、ブースターは動作しません。電源プラグを電源コンセントから抜いて、配線などを点検してください。

電源部は屋内用です。屋外では使用できません。

使用例・接続例および調整方法

出荷時の設定

●UHF (利得調整 最小、増幅ch13〜62、入力レベル調整 0dB)

●電通スイッチ “切”

●使用例1

U・V1本入力

UHFアンテナ

VHFアンテナ

U/V混合器

電源

●ケーブル接続が完了し、電源部を動作させると電源ランプ「緑」が点灯します。

電通スイッチ 入 切

●地デジブースターを使用しない場合は必ず「切」にしてください。

U・V入力

電源部 (NPS5) へ U・V出力

●使用例2

UHF入力

※地デジブースター使用時

強い電波を受信 UHFアンテナ

弱い電波を受信 UHFアンテナ

U/V混合器

地デジブースターUPA16 (別売品)

防水キャップ

電源

●ケーブル接続が完了し、電源部を動作させると電源ランプ「緑」が点灯します。

電通スイッチ 入 切

●地デジブースターを接続する場合は「入」側にしてください。電通ランプ「赤」が点灯します。

U入力

●電源部およびテレビへの接続例

電源部とブースター (増幅部) の間で分配などする場合は、電流通過型機器をご使用ください。

POWERランプ

DC15V

U・V入力端子

テレビ

電源部 (NPS5)

電源コンセント (AC100V)

電源プラグ

電源コンセント (AC100V)

電源プラグ

電源プラグを電源コンセントに差し込んでもPOWERランプ「緑」が点灯しない場合は、異常が発生しています。すぐに電源プラグを電源コンセント (AC100V) から抜いてください。

⚠️注意

ブースターへの接続やテレビへの接続、分配器などの接続は確実にしておこなってください。故障の原因になります。

この「安全上のご注意」、「取扱説明書」、「施工説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

●ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないで、指定の固定方法で取付けてください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いも

●万一、本品を落したり、破損した場合には、電源プラグをコンセントから抜いて販売店・工事業者にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●雷が鳴りだしたら、アンテナ線、機器には触れないでください。感電の原因となります。

 接触禁止

●本品上面のカバーをはずしたり、改造したりしないでください。また、本品の内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店工事業者にご依頼ください。

●万一、異物が本品の内部に入った場合は、まず、電源プラグをコンセントから抜いて販売店工事業者にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
(特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。)

●本品の開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

また、本品の上に小さな金属物（クギ、針、ヘアピン、クリップピンなど）を置かないでください。中に入った場合、火災・感電の原因となります。



⚠ 注意

●湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所（調理台や加湿器のそば）に置かないでください。また、振動のある場所に置かないでください。故障や火災・感電の原因となることがあります。

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

●本品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

●旅行などで長期間、本品をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

●お手入れの際には、ベンジン、アルコール、シンナーなどは使わないでください。塗装がはげたり、変質することがあります。お手入れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

●本器の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、本器が変形し、火災・感電の原因となることがあります。

●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

●本器の上に他の機器を乗せたり、本器を他の機器の上に乗せないでください。他の機器の発熱によって、本器内部の温度が上がり、故障の原因になることがあります。

型名	取説表面に記載	製造番号	取説表面に記載
お客様	お名前		
	ご住所 電話番号 ()		
お買上げ日 年 月 日		取扱販売店名・住所・電話番号	
保証期間(お買上げ日より) 本体 1 年 (但し消耗品は除く)			

- ④ 海岸付近、温泉地などの地域における公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）など腐食性の空気環境に起因する故障および損傷。
- ⑤ ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する故障および損傷。
- ⑥ 異常電圧、電気の供給トラブルなどに起因する故障および損傷。
- ⑦ 用途以外で使用した場合の故障および損傷。
- ⑧ 塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩滅などにより生じた外観上の現象。
- ⑨ 消耗部品の消耗に起因する故障および損傷。
- ⑩ 日本国以外で使用された場合の故障および損傷。
- ⑪ 本書のご提示がない場合。
- ⑫ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。

修理×モ

同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法（別売品）

ケーブルをご使用ください。外径が1.5mmより太い場合同軸ケーブルを取換える場合は、以前使用していた同軸ケーブルをご使用ください。)

⚠ 注意
加工の際、切りくずの
扱いや工具の使用には
十分注意してください。
思わぬケガの原因とな
ります。

使用上のご注意

注1 デジタルテレビなどの「アンテナレベル」の数値は、アンテナ設置方向を確認する際の目安値です。電波の強さを表す値ではないため、本器を使用しても大きくなるとは限りません。

注2 本器設置後、テレビ画面が映らない(ブラックアウト)、画面上にモザイク状のノイズ(ブロックノイズ)などの症状が出る場合は、調整の他に以下の項目をご確認(調整して)ください。

●テレビのアンテナ入力端子に減衰器(アッテネーター・別売品)を取付けてください。

注3 本器設置後、テレビ画面がザラザラになったり(スノーノイズ)、点線状のノイズ(トランケーションノイズ)、自動車などによる雑音、その他雑音が出る場合はアンテナ設置の位置、方向および高さなどを調整して、鮮明な画像が得られるように調整してください。

デジタル放送受信・アナログ放送受信について

機器の接続について

注6 電源部とブースター(増幅部)の間に電流通過型ではない分配器などが接続されていると、本器は正しく動作しず、電圧降下型や電流分配型などの証明がはたせられにくく、また、電圧降下型の電圧降下値に増大している場合がある。

注8 U・V入力端子に地デジブースターUPA16を接続しない場合は、必ず電通スイッチを"切"にしてください。地デジ

電源部について

注9 電源部は本器専用です。他のブースターなどに使用しないでください。

お客様窓口専用ダイヤル	(03) 3893-5243	ご利用時間 9:00～18:00 (土・日・祝祭日・弊社休業日を除く)
-------------	-----------------------	-------------------------------------

日本アンテナ株式会社

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。
平成22年7月